

勉強会及び技術研修会開催

〈勉強会〉

九月二十四日に愛知県土地改良会館の大会議室にて、農業土木技術者としての広範な知識の習得に努める事を目的とし、「安全・安心な食と暮らしの確保のために」及び「職場における社員の心と体の健康づくり」についての勉強会を開催いたしました。

昨今の話題として両テーマへの関心も高く、平日の午後にも関わらず百名を超える多くの方々にご参加いただきました。

「安全・安心な食と暮らしの確保のために」

愛知県農林水産部 水産課

富山 実 主任主査

「職場における社員の心と体の健康づくり」

中央労働災害防止協会

中央安全衛生サービスセンター

松葉 斉 事務局長

松葉 斉 事務局長

〈技術研修会〉

十月二十三日には県職員の方もお招きし、農業農村整備事業においては農業用水利施設の設計を行うにあたって、不可避となっている環境に対する配慮や石綿管処理業務について技術研修会を左記の内容にて開催いたしました。本研修会は公共事業予算の削減がづく中で、大きな関心を背景に百五十名を超える多くの技術者の方々にご参加いただきました。

「農業農村整備事業と環境配慮」

名古屋大学大学院

竹谷 裕之 教授

「石綿管処理実務」

(独) 水資源機構

豊川用水総合事業部

第三調査設計

服部 宏之 課長



(上写真) オートレベルを覗き、何が見えるか懸命に探す小学生たち。

(下写真) 光波測距儀を用い、自分の投げたボールの距離を測定する子供達



(勉強会風景)



(技術研修会風景)

「農と水の故郷フェア'08」(農と水の故郷フェア実行委員会主催)にて「農と水の故郷フェア'08」が農と水の故郷フェア実行委員会(愛・地球博記念公園)に十月十九日(日)にモリコロパーク(愛・地球博記念公園)にて「農と水の故郷フェア'08」が農と水の故郷フェア実行委員会主催により開催されました。

本フェアは、次代を担う子供たちを中心として広く県内の方々に楽しみながら農業・農村の必要性とその基盤を支える農地、農業用水、水源林などの役割・仕組みについて実感していただくと共に、その大切さとご理解を深めていただくことを目的として実施されました。

当研究会では、本フェアに対し「測量実体験コーナーの開設」により、測量機器へのふれあいを通じて、多くの小学生やその保護者の方々に測量への理解を深めて頂きました。

今回のフェアでは、測定記録証明書と木祖村役場からご厚意でいただいたミネラルウォーターと間伐材を利用したヒノキの箸などを参加記念として皆さんにお配りいたしました。